

平成26年11月5日に厚生委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

● 吉備線LRT化基本計画（案）の策定状況について ●

～内容～

吉備線LRT化基本計画（案）の策定状況に関して、岡山市及びJR西日本との会議等の開催経緯及び吉備線LRT化基本計画素案第1章から第5章（岡山市・総社市の現状と将来像、吉備線沿線の現状と課題、吉備線沿線のまちづくりの方向性、吉備線のLRT化の必要性、LRT化の基本方針）について調査した。

～質疑～

問：第1回の検討会議を行い、16名のメンバーで行い、受益を受ける地域は参加している。しかし、総社市内で受益を全く受けない地域の意見が非常に重要になるが、今後の検討会議の中で、受益を受けない地域の参加、意見をどういうふうに聞いていくか。

答：現在の検討会議は、あくまでこれをやるかやらないかの検討ではなくて、吉備線はどうしていったらいいかというのが主な課題なので、沿線の方に出ていただいた。今後、市民のコンセンサスを得ていかなければいけない。

問：LRTを進めていくに当たり、沿線にどれだけ人を集めるかが、重要だが、総社市の都市計画では、ここをどうしていくのか。

また、調整区域の解除はなかなか認めてもらえないと思うが、このLRTをすることによって解除が可能となるような交渉をしているか。

答：交渉はしているが、本当にハードルが高い。いろんな手法を模索しながら県等と話を始めている。LRT化の意義も上げなければいけないし、まちづくりとしての観点からの話もしていかなければいけないと思っているので、できるだけ努力をしようと考えている。

問：観光面についての影響、効果はどうか。

答：観光にも寄与できると考えている。

総社市での検討協議会も立ち上げ、観光関係者にも入ってもらおう。観光面の話は必ず必要になると思うので、そういう観点でやっていく。